

貿易を支える港の役割(やくわり)

わたしたちの暮らしに必要なさまざまな原材料や製品は、ほとんどが船によって運ばれています。これらの貨物(かもつ)を船に積み込んだり、船からおろしたりする場所が港です。

そのため、貨物を運ぶ大きな船が横につけることができるように、まっすぐで長い岸壁(がんぺき)が造(つく)られています。

また、貨物を積みおろしするために、コンテナ用のガントリークレーンやコンテナ置き場などがあります。

さらに、貨物の検査(けんさ)をする施設(しせつ)や、小麦などを保管(ほかん)するサイロ、原油などを保管する貯蔵(ちよぞう)タンクなどもあります。

このような造りや、貨物の積みおろしに必要ないろいろな設備(せつび)がある港によって、船による貿易が支えられています。



↑ コンテナふ頭にはたくさんのコンテナが並び、大きなガントリークレーンで積みおろします。